

5.2. USB ドングル設定

接続モード変更

USB ドングルは2種類の接続モードをサポートしています。

HID キーボードエミュレーション — 標準の接続方法です。特別なアプリケーションを必要とせず、HID キーボードとして動作します。通常はこちらをご使用ください。

USB 仮想 COM エミュレーション — ホストに仮想シリアルポートを作成して接続する方法です。別途ドライバやシリアルポートを使用するためのアプリケーションが必要です。ドライバのインストール方法などは、ウェブページに掲載されております「MS842P_USB 仮想 COM ドライバ_インストールマニュアル」をご覧ください。

日本語が入った QR コードを読取る場合は「USB 仮想 COM エミュレーション」をご使用ください。



HID キーボードエミュレーション



USB 仮想 COM エミュレーション

キーボードレイアウト変更 (HID キーボードエミュレーションのみ)

ホストのキーボードレイアウトに合わせて変更してください。ホストのキーボードレイアウトとスキャナのキーボードレイアウトが異なると、記号など一部の文字が正常に表示されません。



日本語キーボード



英語キーボード

Caps Lock モード

スキヤナの Caps Lock の状態を変更します。大文字と小文字の出力を変更したい場合に使用します。

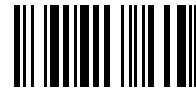
Caps Lock フリー — ホストの Caps Lock 状態を検知して正確なデータを出力します。

Caps Lock オフ — 全て小文字で出力します。

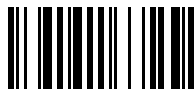
Caps Lock オン — 全て大文字で出力します。



Caps Lock フリー



Caps Lock オフ



Caps Lock オン

文字間遅延

文字間遅延は、1つの文字を送った後に次の文字を送るまでに待機する時間です。スキヤナの送ったデータが正しくない場合や途中の文字が欠けてしまう場合は、文字間遅延を長めに設定すると解決することがあります。



1 ミリ秒



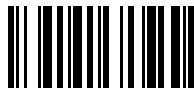
5 ミリ秒



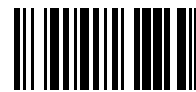
10 ミリ秒



20 ミリ秒



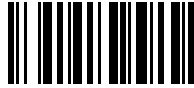
50 ミリ秒



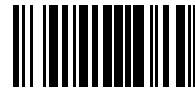
100 ミリ秒

ブロック間遅延

ブロック間遅延は、1つのバーコードデータを送った後に次のバーコードデータを送るまでに待機する時間です。ホストの処理速度がスキャナのスキャン速度より遅い場合は、ブロック間遅延を長めに設定するとデータの正確性を確保することができます。



10 ミリ秒



50 ミリ秒



100 ミリ秒



500 ミリ秒



1 秒



3 秒

ファンクションキーマッピング設定

この機能を「有効」にすると [ASCII 文字セット](#) (71~82 ページ) の太字で示されたキーが送信されるようになります。この機能の設定値にかかわらず、太字のキーストロークが設定されていないものは標準のキーストロークが送信されます。



無効



有効